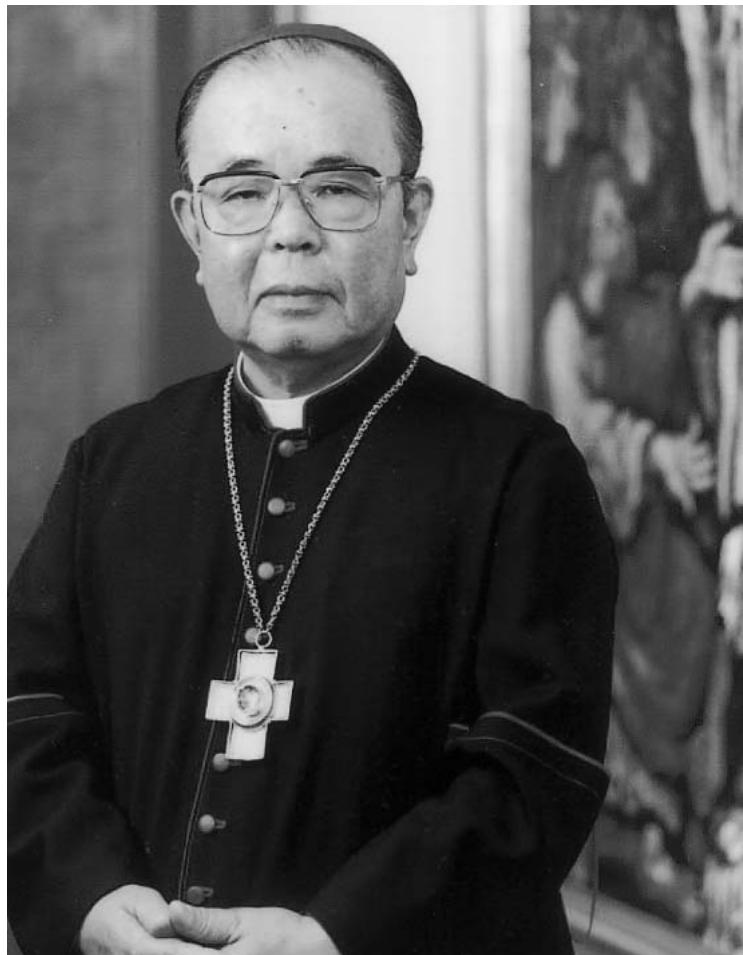


# 生きいき憲法

日野原重明



「世界の宝」  
白柳 誠一

現代世界において無差別大量殺戮を目指した武器の製造、保管、使用が悪であることは、誰しも認めることであり、そのさせたるものは核爆弾である。

歴史の流れの中でそれらを加害者として、また被害者として体験した日本は反省と将来への世界平和を目指した素晴らしい日本国憲法第9条をもつてゐる。

最近世界の多くの国でこの憲法9条が注目され、「世界の宝」として研究が始まっていることは誠に喜ばしいことであるが、日本では反対に9条改正が叫ばれているのは理解に苦しむ。

憲法第10章「最高規範」のなかで「・・・・・國務大臣、國會議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し、擁護する義務を負う」とあるが、国際社会の動きに応じて憲法9条が拡大解釈され、日米安保条約を始め自衛隊の海外派遣などが生まれた。国際国家として他国の善のために尽くすべきであるが、それは9条をあくまでも守り、武器によるのではなく、人間固有の能力である精神的活動、理性、判断、選択する力を使つての忍耐深い誠実な対話によるべきである。今日では文化交流、人的交流、マスメディアの発達、海外旅行などは、対話に必要な相互理解、他国文化、歴史の理解と尊敬、留学生、青少年の相互訪問など多くのことはこれを容易にしてくれる貴重な手段になるであろう。

(しらやなぎ  
(カトリック枢機卿)

# 「地域にひろげる」 いきいき活動 第4回交流会

5月18日午後6時30分から阿佐ヶ谷地区民センターにおいて、第4回交流会が開かれました。参加者は39名。この日のテーマは『地域に広げる』で、「北区議会・憲法9条を守る会」「憲法をまもる町田の会」「かみいたばし9条の会」からそれぞれ15分のレポートがあり、続いて意見交換しました。

## 「北区議会・憲法9条を守る会」の報告

八百川孝氏（共産党、9期連続当選）から、共産党議員が元



【写真】北区議会の報告をする八百川さん

社会党議員と話し合い、民主党議員を通じて公明党、自民党議員にも呼びかけた結果、05年2月に区会議員44名中25名の連名で「私たちは33万人区民の代表として議員自らが具体的な行動を起こすときと考え、『憲法9条を守ること』の一点に絞り、この程、『北区議会・9条を守る会』を結成しました。私たちは議員であると同時に、互いに一個の自立した人として党派を超えてこの会を結成しています。・・・区民のみなさん、二度と再び過ちを繰り返さない

ために日本国民が決断し明文化した憲法9条を守るために立ち上がり、内外に向けて再び『北区の良心』を発信しようではありませんか。」とのアピールを発表したこと、北区はその1割を軍用施設が占める「軍都」であったが、戦後も米軍が施設を接收したことから軍用施設の開放が与野党を超えた街づくりのスローガンとなり、ベトナム戦争の傷病兵の野戦病院が東十条に作られるというので反対運動を展開した結果、その3分の2を解放させることができた実績があり、こうしたことからアピールに名を連ねた議員は共産党から自民党まで過半数に広がって、公明党は9条に「自衛隊を認める」条項を追加する加憲を唱えているが9条の1項と2項は守るから矛盾はないとして参加した、とアピール発表に至る経過を最初に

紹介されました。そして、結成後の活動として、女優佐々木愛氏と評論家佐高信氏、作家澤地久枝氏、元自民党幹事長の野中広務氏、俳優宝田明氏と東京大空襲の橋本代志子氏を招いての講演会をこれまで開催し、今年はアンケートが200通も集まったとして、その中から「超党派で9条をまもる運動の意義は大きい」との意見を紹介されました。そして最後に、他党議員とともに防衛省・

靖国神社遊就館・千鳥ヶ淵戦没者慰靈にも行って他党議員の内親の戦争体験を知ったとともに紹介され、他の議会でも工夫して党派を超えた九条運動を、と呼びかけました。

## 「憲法を守る町田の会」の報告

斎藤勇事務局長から、「九条の会」発足の1ヶ月前の04年5月に発足した町田の会の呼びかけ人は73名、呼びかけ団体は14であったこと、市内に地域の会13、学生1、職場2、分野別2の九条の会をこれまで組織してきたこと、会の基本理念は九条を基本に基本的人権の11条や生存権の25条など憲法全体を守ることを重視し「憲法改悪を許さない」の一点で共同するとしたこと、また会の基本課題を「有権者の過半数が反対投票を！」として地域、職場、学園に九条の会を数多く組織していく活動を積み重ねてきたこと、以上を最初に紹介されました。



【写真】町田の報告をする斎藤さん

続いて、地域に九条の会を作るときに留意した点として、①地域の広さにはこだわらない、②町田の会への入会は呼びかけない、③町田の会と上下関係はない、を大事にして取り組んできたこと、但し九条を守るという

共通の目標に向けて力を合わせようということから、町田の会が呼びかけて2ヶ月に1回の割合で交流会を開いてきたこと、また5月3日と8月15日に市内の九条の会も参加して宣伝行動をやっている、05年5月の結成1周年の集いに480名、05年10月の「愛と平和の夕べ」に700名、06年3月の朝日新聞（多摩版）意見広告に民主党、社民党、共産党の市会議員を含む賛同者は350名、07年4月の3周年の集いに50名、07年11月の憲法フェスティバルでは延暦寺住職の講演、および市内のお寺や教会などを総訪問し、寺院12、キリスト教会18、天理教3、神社1、イスラム教会2が協力を表明してくれた、08年9月はイラク帰還米兵の話を聞く会に120名、09年5月に5周年の集い等々の旺盛な活動が話されました。

また、市内の金森地区では2ヶ月に1回定期的に戸別訪問して対話と署名を集める活動、玉川学園では駅で毎月9の日に宣伝行動、南町田九条の会は趣味の交流など、地域九条の会の多面的でユニークな活動も披露されたうえ、小学校区単位に九条の会を作ろうとの呼びかけは否定しないが、それをやるにはきちんとした組織が必要なので今は九条の会を「全地域」に作ることを目指している、との意見が述べられました。

### 「かみいたばし9条の会」の報告

武田仁氏は冒頭、教員を辞めた時に今後は地域で活動する、子どものために平和運動をやる、以上の決意を固めたとの会結成の立脚点を打ち明けられました。そして、東武東上線上板橋駅周

辺に住み働く人たちへ呼びかけるために05年5月に会を発足させ、会員は現在50名余であること、これまで憲法学習会、映画「日本国憲法」を観る会、平和のうたごえの集い、平和の語りの会、ミニニュース発行、宣伝行動など多彩で顔の見える活動を心がけてきたこと、を紹介されました。感心したのは、毎月9の日に行う宣伝行動に6つの原則を作ったということでした。①上板橋駅で行う時間は夕方5時半から1時間、②どんなことがあっても休まず1人でもやる、③雨のときはポスティングに切り替える、④マイクは使わず地声で訴える、横断幕なし、手作りのポスターを手に、⑤チラシはできるだけカラー印刷として毎回400枚、⑥字は多くしない、詩や短歌も載せて読みやすくする。最後に、マンネリと言われることもあるがそれは嬉しいこと、なぜなら美しいマンネリだから、と。そして今、沢山の人々に訴える活動が求められている、と結ばれました。

### 意見交換

質疑後、江戸川区松島九条の会、東京外語大九条の会、九条の会荻窪、代田九条の会、守ろう憲法西東京の会、府中西部九条の会、九条の会・杉並連絡会などの活き活きとした活動紹介、同時に九条運動に取り組んできた中での教訓が伝えられ、午後8時30分過ぎに交流会は終りました。

・世代を超えて平和と憲法について交流することが大事。青年は世代を超えた交流を求め、戦



【写真】「かみいたばし」の報告をする武田さん

争体験世代は自分たちの体験を若い世代に伝えたいと思っている。

- ・映画『軍隊をすぐた国一コスタリカ』を観る会をキリスト教会でやったら新しい人が30名も集まった。教会は安心感があるからだと思う。

- ・5月3日に130名で500枚のビラを撒き、新聞折込も7万枚（朝日、東京、赤旗）、商店街を練り歩いた。

- ・分かり合っている人同士の運動となっている。宣伝行動をやっていても九条を知らない人が結構いる。九条の会は7000超えたというが安心しては危ない。もっと広げることが大事で、宣伝の仕方も工夫する必要があるのでないか。

- ・九条の会に誘っても入らない。会は作ったが動いていない。新しいエネルギーを作っていく必要がある。





## 特集

### 講演『激動の中の憲法—9条と25条』

4月13日、九条の会東京連絡会は標記のテーマの講演会を催しました。参加者178名。4つの疑問に答える形で進められた渡辺治教授（一橋大学）の講演（90分）要旨は以下のとおりです。

#### 安倍政権の改憲策動はなぜ挫折したか？

麻生政権は改憲をどう立て直そうとしているのか？安倍首相は「任期中の改憲」を公約して登場したが、これは戦後初めてのことでの改憲支持の多数世論を背景にした安倍政権の下で憲法は大きな危機を迎えた。しかし、その改憲策動は挫折した。その要因は3つある。①「押し付け論」は国民受けしなかったうえ、戦前の日本に戻るのではないかとの強い危惧・警戒心を国民が持ち、改憲派の中からも「安倍改憲は反対」の声が出てきた。②九条の会を中心とした憲法運動が高揚し、改憲世論を変える大きな力となつた。04年読売調査は憲法改正賛成65%、反対22.7%で、この力を背景に改憲に乗り出してきたが、九条の会が結成されて年毎に増え続け、今7千を超えるに至つた。「会」が増え続けるのと比例

して60%（05年）、55%（06年）、50%（07年）と

賛成派は減り続け、08年は賛成42.5%、反対43.1%と遂に逆転した。九条の会運動の特徴は、1つは、9条改憲反対の一点で幅広く結集していること。東北地方では首長9条の会が作られ、自衛隊賛成の保守も参加し、政党や労働組合など様々な運動組織を超えて市民が結集するなど60年安保共闘とは異なる広さがある。2つは、安保闘争は20代、30代が主力だったが、今回は60代、70代、50代を中心とした中高年パワーが主力で、戦争しない、自衛隊は外に出さないという戦後民主主義の経験者の危機感がそこにある。3つは、個人のイニシアティブが運動の核となっていること。安保闘争は社会党、共産党、総評の共闘だったが、今回は市民個人のイニシアティブを大事にしてこれが運動の盛り上がりを支えている。安保闘争のように中央の共闘会議が指令を出す運動ではなく、対等平等の運動となっており、7千を超える九条の会が学習会や地域の運動を展開するこ



とを通して憲法改正の世論を大きく変えてきた。③3つ目の要因は、同時に格差と貧困の拡大という構造改革の被害が社会に広がり、その矛盾の爆発によって改憲どころではないとの世論が高まり、その怒りが安倍政権を総辞職に追い込んだ。

この結果、改憲は手詰まり状況となった。民主党が改憲から離反し、憲法審査会も開けぬまま2年が経過したが、安倍首相の失敗は国民を馬鹿にし、民主党を軽視したことにある。その反省から、福田・麻生両政権は3つの新戦略を打ち出した。

1つは、民主党との協調体制の再建。08年3月、新憲法制定議員同盟の幹部に民主党の鳩山幹事長と前原副代表を取り込んだが、鳩山幹事長は中曾根元首相が直々に電話して誘った。海賊船対策でのソマリア派兵の「国際貢献」論、そして海外派兵恒久法の制定で民主党を取り込む戦略がそこにある。

2つは、解釈改憲先行の戦略。海賊対処法と海外派兵恒

久法がそれだが、特に海賊対処法は自衛隊の派兵を求めるアメリカの苛立ちに応えるとともに、民主党を改憲協議に抱き込む格好の材料としている。3つは、安倍首相が国民を敵に回した反省にもとづく国民運動の再建。「9条の会に負けた、負けないように国民を結集する」（中山太郎）として全国に新憲法制定議員同盟の支部を作り、日本青年会議所とも連携してシンポジウムを全国で展開する。シンポの第1部では護憲派も呼ぶ、しかし護憲派が退席した後の第2部では護憲派の意見の間違いを検討する。これに加え、九条の会の活動をのさばらせないとして、住居侵入罪や国家公務員法違反を乱用してビラ配布を弾圧し、「政治活動」だとして九条の会には会場貸与を許可しないなどの運動規制も強めてきている。

この新しい戦略の結果、改憲賛成派が増加してきた。09年4月読売調査は賛成51.6%、反対36.1%と賛成派が前年より9ポイントも増え再逆転した。九条の会の伸びが鈍化し、安倍をやっつけたという安心がそこにあり、また船田元議員が安倍の復古的改憲論は「国民に恐怖を与えた」として「国際貢献のために」は自衛隊はこのままでい

## 本づくり 夢づくり 平和な21世紀づくり 自費出版

- ① 編集者がお手伝い
- ② 60年の本づくりの実績を生かし、高品質
- ③ ご希望があれば、書店販売も
- ④ 相談コーナー常時開設

ご相談、お見積は

**新協出版社・新協印刷株式会社**  
〒112-0006 文京区小日向4-2-5  
TEL 03-3814-7771  
FAX 03-3814-7773  
URL : <http://www.sinkyō-p.jp/>

いのか」と改憲の論拠を変更している、以上が理由である。そして今、北朝鮮「脅威」論と海賊対処法への国民の同意が重なり、改憲賛成派と反対派は大きな綱引きとなっている。

### 自公政権の構造改革路線はなぜ行き詰ったか？

### 麻生政権は構造改革をどう立て直そうとしているのか？

戦後の日本は福祉国家とは言えないが、「構造改革」は日本社会の安定を支えていた3本柱を切り捨てた。①リストラ、正規500万人首切りと非正規500万人輩出、派遣法の度重なる改正にみるよう、正規従業員・終身雇用・年功賃金で社会保障の貧弱を補完していた企業社会を切り捨て。②企業に面倒を見てもらえない農漁業・商業に対する利益誘導政治を切り捨て。③元々貧困な社会保障費をさらに毎年2200億円削減。この結果、構造改革の矛盾が社会破綻の劇的顕在化および地方財政の破綻という形で現れた。餓死と自殺はヨーロッパにはみられず日本だけ。99年以降激増した自殺は08年は戦後最高となるだろう。内2万人は50歳以上の男性。NYタイムズは一面トップで「豊かな日本でこんなことが起こっている」と北九州の餓死を報道した。

こうして07年参院選で自民党は地方区で6勝23敗と大敗したように、構造改革に対する批判と怒りが自民党を直撃した。他方、民主党は選挙直前に「反構造改革」「農家戸別所得補償」「子ども手当月2万6千円」を唱えて国民の多くの支持を取りつけた。

また25条の実現を求める運動が構造改革をストップさせたわけではないが、この間、反貧困・反構造改革の運動が台頭してきた。この運動も個人加盟であること、運動の中に労働運動の活動家が座っていること、反貧困運動に労組・政党が背後で支援していること、以上の点で九条の会運動と似ている。30代、20代の青年が中心だが、九条の会と車の両輪となって全国で反貧困ネットづくりが進んでいる。

これに対し、麻生政権は湯水のような「財政出動」によって構造改革の矛盾を糊塗し、構造改革路線を立て直そうとしている。

### 政権交代で改憲、構造改革はどうなるのか？

マスコミは衆院選挙で政権が交代するのではと言っているが、政権が交代しても政治はよくならない。なぜか。民主党は構造改革の急進およびマイルドな軍事大国化を柱とする保守二大政党をめざしている政党。07年参院選では構造改革路線から「変節」したが、その要因は、①地盤が強くない民主党の議員はインターネットを通じて国民の動向をよく見ており、自民党より世論に敏感であること。②参院選での政策のドラスティックな転換は小沢代表1人の力によったこと。③アメリカと違って日本では純粹保守二大政党制が未だ成立していないこと。アメリカにはない共産党や社民党の政策や意見が國民に入るため、社会の声や社会の運動が強いと民主党もそれを無視できなくなるが、逆にそうした声や運動がなくなれば民主党は本来の姿に戻る。

では衆院選挙で改憲、構造改革はどうなるか。自公政権が存続した場合、民主党を切り崩して憲法審査会が始動するなど憲法は危険な局面を迎える構造改革も手直しはあるが財政出動とその後に消費税増税が待ち構えている。民主党を中心の政権が誕生した場合、憲法審査会が始動し海外派兵恒久法も出てくるし、農家戸別所得保障など実施して構造改革に手は打つが、最後は消費税増税へ。共産党と社民党が前進してその数を加えない場合、改憲と消費税は先送りせざるを得なくなり、派遣法改正など反構造改革に対する第一歩がスタートする。他方、自民党も民主党も単独で多数を確保できない場合、大連立が十分に考えられ、その場合、改憲と消費税増税を実行する大変危険な局面となる。

### 改憲を阻み、憲法を実現するために

9条改憲を阻み、憲法25条を実現するためどんな運動が求められているか。渡辺教授は次の私見を披露された。

- ・9条改悪を阻むためには解釈改憲に反対する運動を推し進めなければならない。当面の焦点は海賊対処法にどう立ち向かうか。北朝鮮「ミサイル」とともどもこの問題の学習と議論を通して市民に大きく訴えて欲しい。戦争体験を語るなど戦争に反対する運動と国際貢献論や北朝鮮「脅威」論にも反対していく二本柱の活動が大事。

- ・憲法改正派が増えてきた今日、九条の会をどう発展させていくか。そのためには九条の会の「役割」を明確にすることが大事。九条の会は既存

の団体の勢揃いではなく、市民の幅広い参加が大きなエネルギーの源泉である。未組織の人々が誰でも参加できる「会」の特性を大事にして欲しい。そして、九条の会の広さを再点検し、無党派市民のエネルギーをもっと取り込んでいこう。

- ・若者たちの間に九条の会を増やしていくためにも、若者を九条の会に誘うことを本格的に考えて欲しい。若者部会を九条の会の中に設け、事務局はサポートしながら若者自身のアイデアとエネルギーによる活動を期待したい。
- ・選挙にどう向き合うか。政党の違いを明らかにして選択するのが選挙だが、九条の会は党派の垣根を超えた運動であり、党派の違いを乗り越える運動。この違いを抑えておくことが大事。

- ・九条の会事務局に対し、九条の会は憲法25条を取り上げていいのか、反貧困の運動は九条の会運動と両立するのか、の質問が数多く寄せられている。これは9条と反貧困への関心が広くなっていることを示しているから議論と学習を進めて欲しい。読売調査

では生存権や社会福祉に関心ある層が25.4%に増大するなど、9条とともに25条への関心が強まっている。25条を実現させるには政治と立法の力がもっと必要だが、貧困と格差、非正規など構造改革の矛盾を取り除く、新しい福祉国家の構想を抱いて25条を復権させる運動にも取り組んでいこう。

(文責：島田修一)



### 渡辺 治さんの講演CDを作っています。

ご希望の方にお譲りします。  
1枚1000円(送料込)  
です。  
郵便振込みで送ってください。

【郵便振込先】  
00180-6  
-762960  
九条の会東京連絡会  
振替用紙には郵便番号・住所・氏名を明記してください。

### 感想

渡辺治さんのお話を聞いた参加者からは、つぎのような感想が寄せられています。

「政治の動き、その背景にあるものがきわめて明確にわかりやすく語っていただき有難うございました」

「九条の会はこれからが正念場であることをひしひしと感じました」

「九条の会伸び悩みは以外でした。ソマリア沖、北朝鮮

問題で改憲賛成が元にもどったことに気がつきませんでした。ゆるやかな九条の会の生き方には、今日のような大きな講演会は絶対必要であり、定期的に開いてほしい」等々

そして今後のテーマとして、次のようなことがあげられています。

- ・アジア太平洋戦争について
- ・「政党を超えて政治を動かすには」
- ・「反貧困と連帯の可能性をさぐる」等々

## 目黒「大岡山・憲法を考える会」 の4年半



同会事務局員  
**野村篤司**

1904年10月4日に、田村拓男さん（音楽家・日本音楽集団代表）など、目黒区大岡山地域に住む9人の方の呼びかけで発足してから、4年半になります。

例会を隔月に休まず続けてきて、先日「第28回目のつどい」を開催しました。

出席者は、いつも15～6人ですが、毎年8月例会の「朗読劇」上演（一昨年・昨年は『この子たちの夏 1945年・ヒロシマ ナガサキ』）には区内全域から50人ぐらい来てくださいます。

発足当初は地域在住者が戦争体験を語ることと、憲法の学習とを組み合わせるという企画で進めてきましたが、このパターンでは息が続かず、例会出席者のリクエストをもとに時宜にかなった多様な内容を考えることにして、とにかく休まず続けています。お話を聞いて話し合うことが多いのですが、映画（DVD）を見たり、朗読や合唱したりすることもあります。

「上目黒九条の会」と相談して、目黒区内の「九条の会」の交流・相互援助の連絡会をつくることを呼びかけ、2006年6月に「目黒『九条の会』ネットワーク」発足にこぎつけ、同ネットワークの平和コンサート「“わ”を広げよう！ 平和のうた・交響」（2006年12月に1200人の参加で大成功）、「“わ”の合唱団」の結成、新曲「うたってごらん “わ”

のうたを」（千葉一郎作詞・小林亜星作曲）の普及（CD無料頒布中）などの活動のきっかけをつくりました。

ことしに入ってからの例会の内容を紹介します。

1月19日（12月例会がずれこみました。）第26回



のつどい「イラク派兵を違憲とした『名古屋高裁判決』の判決文を読んでみましょう」

判決文の全文を手にして、事務局（野村事務局員）から文章全体の構成や部分ごとの要旨の紹介を受けながら、だいじなところを読み合せし、感じたことを話し合いました。

2月26日第27回目のつどい「『日本の侵略は濡れ衣』という田母神論文を歴史の事実に照らして検討する」お話 高校教師油谷敬一さん。田母神論文の全文を手にして、その内容の一つ一つが真実とどんなにかけ離れているかを、歴史の事実に即して解明。こ

の論文の果たす役割や私たちの対応などについて話し合いました。

4月20日第28回目のつどい「ソマリアの海賊の問題と自衛隊」お話 国際問題研究者田川実さん。ソマリアの海賊問題の実情と背景、国際社会・各国の対応、解決への道、自衛隊派遣の問題点などについてお話を聞き、日本の国際貢献のあり方、ソマリア海賊問題解決の真の道すじ、国会にかかっている「海賊対処法」の問題点などについて話し合いました。

会の連絡先 〒152-0033  
東京都目黒区大岡山  
1-21-14  
田村拓男  
FAX 03-3718-6004



## 事務局から

### ■第2回懇談会のお知らせ

東京連絡会の第2回懇談会を下記の要領で開催いたします。今後の東京連絡会の運営や東京での九条運動の協力共同について自由に話し合います。懇談会ですので気軽に参加して下さい（議決などはとりません）。

◎日時：6月15日（月）

18:30～20:30

◎会場：文京シビックセンター  
地下1階学習室

◎議題：1) 東京連絡会発足1周年に向けて  
2) 2010年5月の国民投票法施行に  
向けて

### ■第5回交流会のお知らせ

第5回交流会を下記の要領で開催いたします。毎回テーマを設定し、各地の九条の会の経験を3～4つ報告してもらい、それをもとに質疑応答を行っています。今回のテーマは「小学校区単位で会をつくる」です。

◎日時：7月27日（月）

18:30～20:30

◎会場：新宿農協会館8階

◎テーマ：「小学校区単位で会をつくる」

◎報告者：（準備中）

### ■連絡先登録の拡大にご協力をお願いします

東京には800以上の九条の会があると言われています。その800以上の九条の会をつなぐネットワークとして東京連絡会がつくられ、これまでニュース発行、交流会、懇談会などに取り組んできました。しかし、これらの取り組みを事務局から直接伝えられているのはまだ3

00程度の九条の会だけです。

- 1 ぜひお知り合いの九条の会に東京連絡会の存在と取り組みを教えてあげてください。
- 2 連絡先登録がまだされていない会（このニュースが直接に送られていない会）はぜひ、以下の4項目を事務局までご連絡ください。次回よりニュースや各種のお知らせを直接郵送します。

\*会の名前

\*郵送先住所（郵便番号、○○様方、○○気付までご記入ください）

\*Eメールアドレス

\*FAX

\*電話番号

年額を以下の4種類（a～d）から1つ選んで、お名前／住所／電話／FAX／Eメールアドレスをご記入の上、東京連絡会事務局までご連絡ください。ご連絡頂いた方には、年1回、事務局から郵便振替用紙を送らせていただきます。

- a 年1000円を寄付する。
- b 年3000円を寄付する。
- c 年6000円を寄付する。
- d 年12000円以上を寄付する。

郵便振込 00180-6-762960

### ■広告カンパのお願い

九条の会東京連絡会は、現在2ヶ月に1回の割合でニュースを発行しています。

この発行経費を賄うため、広告カンパを募って、広告を掲載していくこととなりました。

但し、広告掲載にご協力頂く場合は、九条の会東京連絡会の趣旨に賛同・協力される立場の方であることが必要です。

どうぞよろしくお願ひします。

横5cm×縦7cm：5000円

### ■賛同寄付金に関するお願い

東京連絡会の財政はみなさんの賛同寄付金と事業収入で賄うことになっています。安定的な財政基盤の確保のために、ぜひとも毎年一定額の賛同金をお寄せ頂けるようお願いします。

賛同金をお寄せ頂ける方は、

### 小森陽一氏講演会

九条を守る活動、

これからが正念場

とき 6月13日（土）

午後2時30分～4時30分

ところ イーストステージ  
いけぶくろ

（豊島区民センター内）

東京都豊島区池袋1-10-20

電話03(3984)7601(区民センター)

JR山手線池袋駅東口下車徒歩約5分

主催 東京外語大・九条の会  
メール：

tufs\_peace9@yahoo.co.jp

憲法とその考え方を広げる

### 法学館憲法研究所

（所長：伊藤真）

伊藤真『憲法の力』『中高生のための憲法教室』、浦部法穂『世界史の中の憲法』など好評発売中！

ドキュメンタリー映画「戦争をしない国 日本」DVDも好評発売中！

WEBサイトで毎週情報発信中  
<http://www.jic1.jp/>

Peace Green Humanity

### テーマのある旅のすすめ

戦争と平和を考える――

アウシュビッツとベルリン

8月5日(水)～11日(火) 7日間446,000円

歴史教育者協議会企画――

スペイン

ゲルニカを訪ねる平和と芸術の旅

8月17日(月)～25日(火) 9日間498,000円

（株）富士国際旅行社

T E L : 03-3357-3377

F A X : 03-3357-3317

<http://www.fits-tyo.com/>